

米国株式型特別勘定 運用状況 (2009年10月末現在)

運用方針

- 主に米国企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 原則として、為替ヘッジは行いません。
- S&P500指数を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	7,928,174	98.6%
現預金・その他	108,856	1.4%
合計	8,037,030	100.0%

運用状況

2009年10月の米国株式市場はMSCI US(現地通貨ベース)で1.94%の下落となりました。月前半は予想を上回る企業の好決算やISM非製造業総合景況指数の上昇などを受けて、景気回復に対する楽観的な見方が広がり上昇しました。しかし、後半に発表された住宅、消費関連指数は予想を下回ったことから、景気回復期待が弱まり、下落する展開となりました。しかし、組み入れ投資信託が堅調であったことや、円安となったことから、当特別勘定は2.12%上昇しました。

当特別勘定では、マルチ・マネージャー型の投資信託を中心とした運用を行っています。

10月は資金流入に合わせて「米国株式インデックスファンドVA」の購入を行いました。

11月についても、マルチ・マネージャー型の「RIC US Equity Fund」を中心とした投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
435.44821822	+2.12%	+3.89%	+14.51%	+8.56%	▲36.10%	▲12.66%	+335.45%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点(1986年12月1日)を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:1986年12月1日)



ポートフォリオの状況

[組み入れ投資信託(投資比率)]



(注)「p17下段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。